

新治西部地区

新治西部地区別計画推進委員会

地域

新治町、十日市場町、長津田みなみ台6・7丁目の一部 (十日市場団地地区を除く)

緑区の西北に位置し、地区の北側は恩田川を境に青葉区に隣接しており、新治町、十日市場町（十日市場団地地区を除く）、長津田みなみ台6丁目の一部（十日市場町自治会）、長津田みなみ台7丁目の一部（後谷地区）で連合自治会を形成しています。

十日市場駅南側を中心に、公共施設、商業施設、医療機関やマンションなどの集合住宅を中心とした住宅が密集している一方、横浜線北側や新治町には農地や新治市民の森などの緑地も多く残されています。

<主な関連施設>

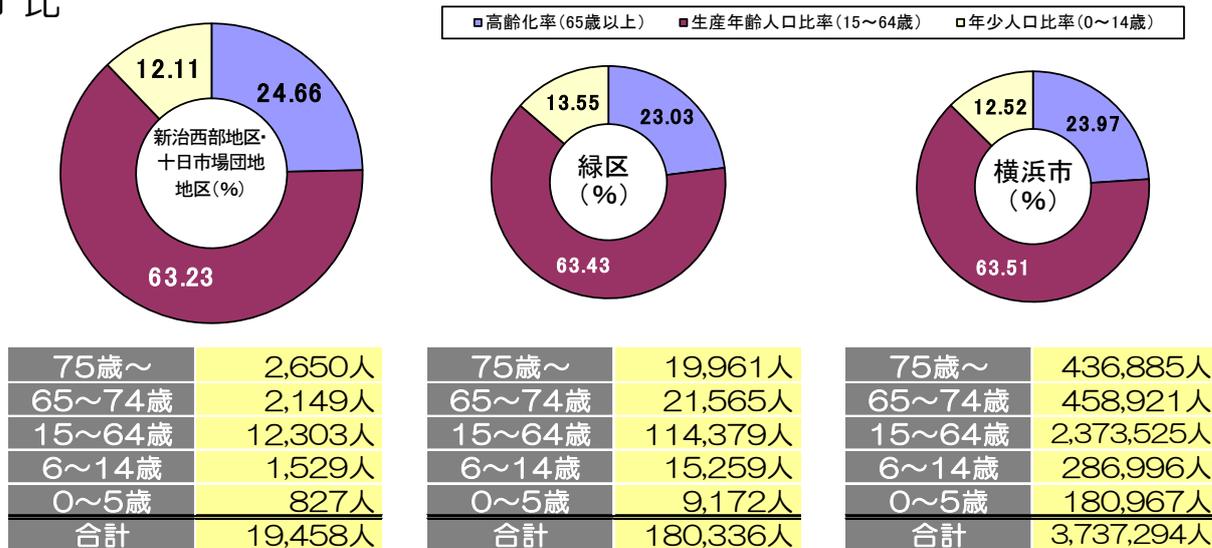
最寄駅：十日市場駅（JR横浜線）

震災時避難場所（地域防災拠点）：新治小学校、十日市場小学校

地域ケアプラザ等：横浜市十日市場地域ケアプラザ

<年齢区分別人口> 人口比

平成29年(2017年)9月末



地区別計画推進委員会の開催状況

注) 上記の人口データには、新治町、十日市場町及び長津田みなみ台7丁目のデータを集計しています。



緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成29年度地区別計画推進状況



新治西部地区



地域での「つながり」を深め
顔の見える**元気な街**を目指して！

新治西部地区では、季節ごとの行事を大切にしています。
様々な世代が集い、知り合うきっかけとなっています。



「農」の取組を通じて、地域でのつながり
づくりや子どもから高齢者までの交流を
進めています！

十日市場の『いちば』は、夏（6月と7月）と冬（11月と12月）に開催し、毎回他地区からも人が訪れ、出品した農産物が完売するなど、大変盛況でした。



(写真：「いちば」の様子)

毎年楽しみ！「後谷地区お泊りキャンプ」



(写真：「お泊りキャンプ」の様子)

夏休み前の7月、暑い中、「後谷地区お泊りキャンプ」を開催しました。子どもたちは後谷菜園で採れた野菜を使い、慣れない手つきでカレーを作り、みんなで美味しく食べました。

「新治町民のつどい」を開催

雪がまだ残る1月、「新治町民のつどい」を開催しました。今回で2回目ですが、多世代の交流を目的とし、子どもから大人まで多くの人に参加し、温かい芋煮を食べるなど、楽しいひとときを過ごしました。



(写真：「新治町民のつどい」の様子)

これからも様々なイベントや世代を超えた交流を通じて、
みんなの顔が見える、元気な街になるような取組を進めます！

新治西部地区別計画推進委員会



新治西部地区 地区別計画推進委員会
平成 29 年 9 月 発行 第 3 期 No.3 (通算 No.13)

新治西部地区 地区別計画推進委員会 通信

第1回みどりのわ・ささえ愛プラン新治西部地区別計画推進委員会を開催しました!

平成 29 年 7 月 25 日 (火) に、十日市場町自治会館において「平成 29 年度 第 1 回 みどりのわ・ささえ愛プラン 新治西部地区 地区別計画推進委員会」と「みんなで地域を考える会」を合同で開催しました。

当日は、田中委員長、小野崎区長のあいさつで始まり、区役所から第3期地区別計画の新治西部地区での取り組みについて説明を行うとともに、地域での諸課題について、話し合いを行いました。この通信では、その内容の一部をご紹介します!



▲ 第1回委員会の様子

取組紹介を受けて、前回に引き続き、地区の課題「見守り」について意見交換しました!



「見守りチェックリスト」の活用について

…十日市場地域包括支援センター 糸井主任ケアマネジャー



一人で孤立している人をどうしたら見守れるか、75歳以下の方でもつながりがない「ひとりぼっち」をどう支えていくかを話し合い、どうしたら孤立を防げるか具体的な方法としてチェックリストを作成した。今後、住民の方の手に届くよう、チェックリストの周知・活用方法についても検討していきたい。



「新治町民のつどい」について…山内さん(新治小PTA会長)

広く住民が参加できるように、「誰でも参加OKで、食べ放題・飲み放題・歌いたい放題」という「新治町民のつどい」を開催した。参加者の年代も幅広く、世代を超えたつながり・顔の見える関係づくりという多世代が交流する機会となった。参加者は、地区の住民の10分の1にも満たないが、今後もっと周知したら増えると思う。

ご意見の一部を紹介します。



- 民生委員として、75歳以上の高齢者を訪問する“地域で見守り推進事業”を行っている。今年度も8月から実施し、高齢者がどういう状況を把握したうえで、訪問の頻度を決め、見守りを続けている。
- 知人とともに地区外ではあるが、「子ども食堂」の活動をしている。最初は1人しか来なかったが、チラシを配ったり、緑区社協に相談し、他の活動も参考にさせてもらいながら続けられたら、3回目には30人くらいの参加があった。
- 老人会では、地区内で見守りが必要な人を、分担して訪問している。年末を中心に見守りしているが、誰にでも声をかけ、孤独な人がいないように取り組んでいる。

裏面へつづく

表面のつづき

- 家になるべく閉じこもらないで、人が集まってくるような場所に引っ張り出すことが重要だと考えている。そのため、老人会に加入してもらうよう働きかけしている。
- 保健活動推進員としては、元気づくりステーションの活動に力を入れている。
- 仕事をやめたら（男性は特に）話す人がいなくなり、一人寂しくなってしまうので、40～50代の方も子どもを通じて活動に参加をしてほしい。
- 多くの地域行事に参加し愛着を持ち、新治西部が大好きだという子どもたちが多いため、いつかはスタッフとして引き継いでいてもらいたい。
- 地域の方が一緒に見守り、日常的に声をかけてもらえると、何回か挨拶とかしているうちにだんだんと話せる様になっていくと思う。
- 挨拶は地域の安全につながる。地域の活動に子どもたちが参加できる場があるのは非常に有り難い。
- もし陰で子ども達がこそこそ何かしていたら「そういうことはしてはいけないよ」と注意してもらえると、健全に育っていけるのではないかと思っている。
- 夏休みに地域の方たちと過ごす時間をもつために、毎年ボランティアに出させてもらう。中学生の時期に地域とつながることで、10年、15年後に地域の力になって活躍してくれるのではないかと期待している。

●意見交換を振り返って

いろいろな意見やアイデアが出て、是非今後の参考にしたいと考えています。

また、「自治会の役員に」と声をかけても、役員には昔から在住の方が多く、最初は取っ付きにくいかもしれませんが、門戸は開いていますので、自治会の活動に参加をしてもらいたいと思っています。



田中連合会長(委員長)

●十日市場の「いちば(夏)」の開催について

6月及び7月に4回開催した「いちば」ですが、出店人数も増え、特に夏野菜は大変多く出店してもらい好評でした。

十日市場の野菜を味見してもらえる機会になったこと、そして家族仲良く出店できるようになったことは大変嬉しいです。

みどりのわ・ささえ愛プランとは…



誰もが身近な地域で安心して暮らしていけるよう、福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む、緑区の『地域福祉保健計画』です。

平成28年度から第3期の計画がスタートし、新治西部地区でも、次の2つの目標の推進に取り組んでいます。

新治西部地区 地区別計画 2つの目標

- ☆地域の中での孤立化をなくし、みんなの顔の見える環境を目指します。
- ☆地域情報を多くの人に届けるため自治会加入を促進します。

【平成29年度 新治西部地区 地区別計画推進委員会】

- 推進委員会メンバーは、連合自治会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、地区保健活動推進員会、消防団、老人会、スポーツ推進員、青少年指導員、防犯部、十日市場中学校、十日市場小学校、新治小学校 などから構成されています。

<連絡先> 新治西部地区 地区別計画推進委員会事務局 緑区区政推進課 (TEL) 930-2218





新治西部地区 地区別計画推進委員会
平成30年3月発行 第3期 No.4 (通算 No.14)

新治西部地区 地区別計画推進委員会 通信

第2回 みどりのわ・ささえ愛プラン 新治西部地区別計画推進委員会を開催しました！

平成30年2月8日（木）に、十日市場町自治会館において「平成29年度 第2回 みどりのわ・ささえ愛プラン 新治西部地区 地区別計画推進委員会」を開催しました。

当日は、第1回地区別計画推進委員会の振り返りや取組報告を行うとともに、新治西部地区の地区別計画に掲げた目標「地域情報を多くの人に届けるため自治会加入を促進します。」の推進に向け、「もしも自治会がなかったら」と題して、話し合いを行いました。この通信では、その内容の一部をご紹介します！

3つの取組報告・紹介がありました！

1 十日市場の「いちば(冬)」の開催について 緑区役所(代理)

11月25日と12月5日に「いちば」を開催し、時節柄新米の売れ行きが大変良かったです。また、今回は神奈川大と連携し、十日市場のまちの魅力紹介やオリジナルバッグを作るブースを設けました。



2 「第2回新治町民のつとめ」の開催について 和田 新治町自治会会長

町内の方が顔と顔を合わせる機会として1月28日に開催し、約200名が参加しました。当日は温かい食事の提供やお楽しみイベントとして「あさちゃんのマジックショー」を開催するなど、大人から子どもまで楽しく過ごすことができました。

3 「みんなの学校」上映会の開催について 山内 新治小学校PTA会長

当日は午前・午後の2回開催しましたが、午後の部と講演会は1週間前にチケットが売り切れになるなど大盛況でした。開催をしてみて、学校が困る、先生が困るではなく、「子ども」が困るという視点で考えることが大事だと実感しました。また、自分だけでなく、人と一緒に考えることも大切だと感じました。

自治会活動について改めて考えるため、「もしも自治会がなかったら」というテーマで話し合いました。ご意見の一部をご紹介します。



- 自治会がなかったら民生委員はどうなるか。自治会からの推薦で民生委員・青少年指導員・保健活動推進員など役員が決まっているので、困ることになるのではないかな。
- 自治会はあって当たり前。水や空気のようなもの。だからみんなで考える必要がある。
- 地域住民が集まることができる場、意見が言える集合体。組織として活用できる。
- 必要な組織。地域ごとにその地域の住民を考える組織である。
- 地域に住む人のつながりのまとめ役。なくても生活できないことはないが、あった方がよい。特に災害等が起こったらないと困る。

裏面へつづく

話し合いで出されたご意見の一部をご紹介します



- 自治会に加入している人は自治会に疑問を感じないが、加入しない人の理由を考えるべき。私自身は子どもの頃からずっと住んでいるので、入るのが当たり前の感覚。
- 学校の立場として、子どもたちは地域の中で育てられていると感じる。自治会がなければ生徒の安全や見守りが難しくなるだろう。生徒は地域に愛着をもっているが、その愛着が失せていってしまわないか心配。繋がりが薄れることも心配。
- 役員は好きでやっているわけではないが、大事だから引き受けている。団体だから出来ることもある。また、役員を引き受けることにより、どんどん繋がりができていく。
- 行事などに小・中学生が参加することに意義がある。子ども達を迎える温かい空気が地域活動にあふれている。子どもも居心地がよいと感じている。そういう空気を造り出しているのが自治会なのでは。
- 中3の自分の息子が夏ボラで地域活動に参加し、「十日市場でよかった」と言っていた。子ども会で知っている役員に声をかけられたことが嬉しかったようである。自治会はなくさないでほしい。
- 自治会を否定する人はいない。足りていないものを論議すればよい。個人が意見をあげるのではなく、自治会の総意としてあげる。
- 自治会活動に参加している人は認知症になるリスクが低いという報告がある。人のために考えて活動している人は認知症になる暇もない。
- 老人会などで、魅力のある活動をしていくと人が集まってくる。集まりの中に出て行くと、困りごとの情報が集まるので民生委員としては助かっている。
- 自治会をなくすのは簡単だが、再度立ち上げるのはとても大変。活動に参加することで、自分ではなく、自分の子ども世代に恩恵が還っていくことを考えて欲しい。

最後に、和田委員長代理からは、

「仕事をしながら自治会長をするのは時間的に大変だが、現役世代とシニア世代がバランスよく役員を担ってくれたらうまくいくと思う。自治会への思いのある人が集まれば、自治会も活性化する。これからもより良い自治会運営や活動のために議論していきたい。」とまとめられました。



▲和田委員長代理



誰もが身近な地域で安心して暮らしていけるよう、福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む、緑区の『地域福祉保健計画』です。平成28年度からは第3期の計画がスタートし、新治西部地区でも、次の2つの目標の推進に取り組んでいます。

新治西部地区 地区別計画 2つの目標

- ☆地域の中での孤立化をなくし、みんなの顔の見える環境を目指します。
- ☆地域情報を多くの人に届けるため自治会加入を促進します。

【平成29年度 新治西部地区 地区別計画推進委員会】

- 推進委員会メンバーは、連自治会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、地区保健活動推進委員会、消防団、老人会、スポーツ推進委員、青少年指導員、防犯部、十日市場中学校、十日市場小学校、新治小学校などから構成されています。

<連絡先>

新治西部地区 地区別計画推進委員会事務局
緑区区政推進課 (TEL) 930-2218